

# 映像合成技術を用いた芸術作品による 表現理論と哲学

芸術学部  
芸術表現学科  
教授

黒岩 俊哉



## 研究シーズの紹介

本研究は、映像芸術の作品制作を通じて、新たな人と社会の関係性を構築するための表現と、その理論を提案するものである。映像と人との関係は、人と人との関係性のメタファーとして、哲学的に考察することができる。映像は人の鏡であり、社会の反射でもある。人と人との関係性は、映像によって人と

社会の関係性の理解を補助する。

つまり「人」「映像」「社会」の三概念を、仮想的に定義することで、多様化する文化や価値観を、よりよく読み解いていこうとするものである。



### 映像芸術による 人と社会の連環

- 映像の特殊合成技術により、あらたな「世界」を創出する。
- 映像芸術の感覚・知覚・認識の共感によって、人との結びつきを創出する。



## 期待される活用シーン

- アートイベントや文化芸術活動を振興したい。
- 芸術家との対話によって、新しい価値観に触れたい。



新たな価値感や芸術体験の獲得



- 学校、美術館、施設などで感性教育を行いたい。
- 芸術による地域コミュニティを形成したい。



芸術による、感性教育やコミュニティの創出



### その他の研究テーマ

○ 実験映像の合成手法における4K-8K高解像度制作環境の構築実験研究  
—100台を超えるコンピュータ群による映像分散ネットワークレンダリングの実験と運用